12月26日	14:30	14:45	はじめに						
							会長挨拶（川口）		
							LOC諸連絡		
	14:45	16:00	セッション１：メーザー（座長：廣田）						
				14:45	15:00	O1-1	日立32-m電波望遠鏡を用いた長期的かつ高頻度な6.7GHzメタノールメーザーモニター観測	杉山 孝一郎	茨城大学
				15:00	15:15	O1-2	日立32m電波望遠鏡による6.7 GHz メタノールメーザーの高頻度モニター観測データを用いた突発変動天体のサーベイ	青木 健悟	茨城大学
				15:15	15:30	O1-3	高変動を示す6.7 GHzメタノールメーザは大質量星からのアウトフローに付随するのか?	中村 拡	山口大学
				15:30	15:45	O1-4	BGPSダストコアを対象とした6.7GHzメタノールメーザー探査に基づく大質量星形成過程の研究	大橋 拓人	茨城大学
				15:45	16:00	O1-5	鹿島34m鏡によるOHメーザーの観測	中川 亜紀治	鹿児島大学
	16:00	16:30	ポスターセッション						
	16:30	17:30	セッション１：メーザー（座長：廣田）						
				16:30	16:45	O1-6	大質量星形成領域G33.641-0.228のバースト的強度変動の偏波に関する研究	小島 佑太	山口大学
				16:45	17:00	O1-7	星形成領域 IRAS 22198+6336 に付随する6.7GHz メタノールメーザーの強度変動の研究	宮本 祐輔	茨城大学
				17:00	17:15	O1-8	大質量星形成領域G9.62+0.20からの6.7 GHzメタノールメーザー放射に見られる周期強度変動要因の観測研究	佐藤 宏樹	茨城大学
				17:15	17:30	O1-9	KaVAによる水メーザージェット天体G357.967の長期モニター観測	元木 業人	山口大学
	17:30	17:45	セッション２：周波数保護（座長：廣田）						
				17:30	17:45	O2-1	電波天文業務を取り巻く世界と日本の状態	亀谷 收	国立天文台・水沢VLBI観測所

12月27日	9:15	10:00	セッション３：位置天文（座長：今井）						
				9:15	9:30	O3-1	VERAを用いた銀河系中心方向の位置天文観測	酒井 大裕	東京大学/国立天文台
				9:30	9:45	O3-2	VERAによるミラ型変光星T UMaの位置天文観測	大山 まど薫	鹿児島大学
				9:45	10:00	O3-3	逆位相補償を用いたIRAS05358+3542の年周視差による距離決定及び内部運動	水窪 耕兵	鹿児島大学
	10:00	10:30	セッション４：測地（座長：今井）						
				10:00	10:15	O4-1	広帯域VLBIシステムによる測地・周波数比較実験報告	関戸 衛	情報通信研究機構・鹿島宇宙技術センター
				10:15	10:30	O4-2	つくばVLBIアンテナの測地学への功績について	川畑 亮二	国土地理院
	10:30	10:45	休憩						
	10:45	11:30	セッション５：AGN（座長：秦）						
				10:45	11:00	O5-1	銀河中心方向天体の固有運動測定と大規模探査	木村 靖伊奈	山口大学
				11:00	11:15	O5-2	モニタリング観測からわかった電波銀河3C 111のγ線活動期と電波ノットの噴出時期との関係	塩谷 康允	山口大学
				11:15	11:30	O5-3	ファラデー回転で探るNGC 1275中心核領域の質量降着流	永井 洋	国立天文台・チリ観測所
	11:30	12:00	学生ポスター紹介（３分×９件）（司会：酒井）						
	12:00	13:00	昼休み／ポスターセッション						
	13:00	13:10	学生セッション報告（酒井）						
	13:10	14:25	セッション６：技術開発（座長：関戸）						
				13:10	13:25	O6-1	3.8 m電波望遠鏡を用いたVLBI観測	高橋 諒	大阪府立大学
				13:25	13:40	O6-2	山口第二電波望遠鏡に搭載する 6 - 9 GHz 帯受信機システムの開発	金澤 翔	山口大学
				13:40	13:55	O6-3	茨城32m電波望遠鏡受信機切り替え用導波管の開発	足立 弘	茨城大学
				13:55	14:10	O6-4	野辺山45 m電波望遠鏡搭載 20/40 GHz帯同時観測用周波数分離フィルタの開発	岡田 望	大阪府立大学
				14:10	14:25	O6-5	東芝の超伝導フィルタ技術	加屋野 博幸	(株)東芝・研究開発センター
	14:25	14:35	休憩						
	14:35	15:50	セッション６：技術開発（座長：米倉）						
				14:35	14:50	O6-6	広帯域アンテナの開発	氏原 秀樹	情報通信研究機構
				14:50	15:05	O6-7	位相補償と大気損失補正のための水蒸気ラジオメータ	川口 則幸	国立天文台
				15:05	15:20	O6-8	EAVNステータス（と2017年春キャンペーン観測）	秦 和弘	国立天文台・水沢VLBI観測所
				15:20	15:35	O6-9	気球VLBI	土居 明広	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
				15:35	15:50	O6-10	43GHz 帯VERA両偏波化の現状	萩原 喜昭	東洋大学
	15:50	16:00	休憩						
	16:00	16:45	招待講演(1)（司会：中井）						
				16:00	16:45	I1-1	電波光子の統計的振る舞いと強度干渉計による画像合成について	松尾 宏	国立天文台・先端技術センター
	16:45	17:00	ポスターセッション						
	17:00	17:30	総会						
	18:00	20:00	懇親会						

12月28日	9:15	9:50	招待講演(2)（司会：川畑）						
				9:15	9:50	I1-2	地球規模の測地基準座標系（GGRF）に関する国連総会決議	宮原 伐折羅	国土地理院
	9:50	10:00	休憩						
	10:00	11:55	セッション７：将来計画（座長：本間）						
				10:00	10:15	O7-1	時間天文学のための広視野電波望遠鏡構想	藤沢 健太	山口大学
				10:15	10:30	O7-2	SKAに向けての国内のパルサー観測について	亀谷 收	国立天文台・水沢VLBI観測所
				10:30	10:45	O7-3	SKA-JP Engineering Working Group 活動報告	青木 貴弘	山口大学
				10:45	11:00	O7-4	水沢VLBI観測所SKAサイエンスWGでの検討状況	廣田 朋也	国立天文台・水沢VLBI観測所
				11:00	11:15	O7-5	VLBI将来計画～中型計画としてのSKA	小山 友明	国立天文台・水沢VLBI観測所
				11:15	11:25	O7-6	日本のVLBI天文の将来について	本間 希樹	国立天文台・水沢VLBI観測所
				11:25	11:55	O7-7	議論		
	11:55	12:00	おわりに						